



# 株式会社フューチャーインク Vital Beats

## 使用条件説明書

- ・ Vital Beatsの機能をお使いいただく上での条件などを記載しています

(2021/02-2)



# 1. 設置の条件

## 1-1. センサを設置する環境

- ☐ 屋内に限定
- ☐ 推奨温度： 10-40℃
- ☐ 推奨湿度： 10-90%RH
- ☐ 建物自体や近隣からの振動を受けない場所であること  
(例えば建物内の空調・暖房機器や、近隣道路の交通などによる振動)

## 1-2. シートセンサの位置

※詳細については「設置方法詳細説明書」を必ずお読みください

- ☐ ベッドフレームに両面テープなどで、Vital Beatsと印刷された面を上にして固定してください
- ☐ 利用者が仰臥した体勢で、みぞおち直下から腹部の間を標準とします

## 1-3. 通信機の位置

※詳細については「設置方法詳細説明書」を必ずお読みください

- ☐ 床置きはしないでください
- ☐ ベッドフレームへの固定をお願いします
- ☐ 固定位置でwifi通信に十分な電波強度があることを確認してください





## 2. ご利用者の条件

### 2-1. ご利用になれない方

- ☐ 心臓ペースメーカーをお使いの方はご使用にならないでください
- ☐ 医療、診断目的には使用することができません

### 2-2. シートセンサの位置

- ☐ 1つのベッド(センサ)につき1名まで  
※添い寝など一つのベッドに2名以上いる状態ではお使いになれません  
※大きな1つのベッドにセンサを2つ設置しても2名での使用はできません
- ☐ 利用想定体重： 40-150kg  
※体重が軽い場合、正しく数値を測れない場合があります  
⇒ マットレス上にシートセンサを設置することで改善できる場合があります
- ☐ 身長： 任意ですが、みぞおち直下から腹部の間にセンサを設置することが必要です



## 3. ベッドなど寝具の条件

### 3-1. ベッドフレームの条件

- ☐ 一般介護用ベッドフレームでの利用を想定した製品です
- ☐ 標準ベッド幅： 80-100 cm
- ☐ リクライニング機構： 制限事項があります
  - ※可動部にはシートセンサを設置しないでください（故障の原因）
  - ※可動部にケーブルが挟まらないようにしてください（故障の原因）
  - ※可動によりケーブルが引っ張られないようにしてください（故障の原因）
  - ※可動によりシートセンサがずれないように固定してください
  - ※可動によりシートセンサ位置がみぞおち直下から腹部の間、からずれると正しく数値を測ることができません
  - ※30度以上のリクライニング角度でのご使用においては、正しく数値を測ることができない場合があります
  - ※リクライニングの動作中は正しく数値を測ることができません
- ☐ 振動を発生する機器とVital Beatsの併用はできません
  - ※例えばモータ類、ポンプ類などが動いていると正しく数値を測ることができません

## 3. ベッドなど寝具の条件

### 3-2. マットレスの条件

- ☐ 一般介護用マットレスでの利用を想定した製品です
- ☐ 標準マットレス幅： 80-100 cm
- ☐ 推奨マットレス材質： ウレタン製
  - ※エアーマットレスでは正しく数値を測れない場合があります
  - ※コイルスプリングおよびウォーターマットレスではお使いいただけません（正しく数値を測ることができません）
  - ⇒ マットレス上にシートセンサを設置することで改善できる場合があります
- ☐ 推奨マットレス厚： 20-150 mm
  - ※厚いマットレスでは正しく数値を測ることができない場合があります
  - ※マットレスを重ねてお使いの場合、正しく数値を測ることができない場合があります
  - ⇒ マットレス上にシートセンサを設置することで改善できる場合があります
- ☐ 振動を発生する機器とVital Beatsの併用はできません
  - ※褥瘡防止のエアーマットレスなどで、マットレス圧を変化させる機能やポンプ類などが動いていると、正しく数値を測ることができません

## 3. ベッドなど寝具の条件

### 3-3. その他の寝具の条件

- ☐ ポジショニングピロー・クッションとの併用では、正しく数値を測る保証はできません
- ☐ 電気カーペットや電気毛布などとの併用では、正しく数値を測る保証はできません

## 4. 通信の条件

### 4-1. 無線LANの条件

- ☐ 対応規格： IEEE802.11b/g/n (2.4GHz)  
※5GHzには対応していません
  - ☐ 電波受信強度： -60dBm以上  
通信機の設置場所、使用時間帯において常時
  - ☐ SNR： 20dBm以上  
通信機の設置場所、使用時間帯において常時
- ※電波受信強度、SNRが基準値以下の場合、基準値から大きく離れるほどデータ送信に障害が発生する可能性が高くなります  
(お使いのシステム上でデータが欠損する原因となります)

### 4-2. 無線LANの留意事項

- ☐ 通信機を床に直置きすることはやめてください  
(床付近は一般に電波強度が低くなる傾向が強いです)
- ☐ 電子レンジやコードレス電話は無線通信のノイズ源となりますので、通信機の近くでは使わないようにしてください
- ☐ 無線アクセスポイントと通信機の間、人の往来、ドアの開閉などによっても無線通信に影響を与える場合があります

## 4. 通信の条件

### 4-3. 通信回線（施設の通信回線設備を含む）の条件

※こちらの項目はNDソフトウェア製Care Patrolのご利用者様に限定の項目となります

- ☐ 通信機1台当たり、30秒に1回の頻度でデータ送信します
- ☐ 1回あたりの通信データ量はおよそ500bytesです
- ☐ 複数台同時に使用する場合は、台数に比例して通信データ量が増加します
  
- ☐ 施設内で同じ通信回線設備を利用する、Vital Beats以外の機器で使用する通信データ量と合わせて、トータルの通信データ量を、施設の通信回線設備で処理できる必要があります  
（施設の通信回線設備に依存しますので、施設の設備担当の方において、設備設置業者などを通じてご確認ください）  
※処理の遅延が発生すると、お使いのシステム上でデータが欠損する原因となります

## 5. お手入れの条件

### 5-1. シートセンサ

- ☐ 防水仕様ではありません
- ☐ 清掃は可能ですが、ケーブル付け根部分から水分が入らないように留意ください
  - ※清掃には水分を固く絞った布を推奨します
  - ※必要に応じてアルコール、除菌液を使っても構いません

### 5-2. 通信機/ACアダプタ

- ☐ 防水仕様ではありません
- ☐ 通信機/ACアダプタには水分がかからないようにお使いください
- ☐ プラグの抜き差しは丁寧に行ってください
  - ※無理な力をかけると、故障の原因となります
- ☐ プラグコネクタの周囲に埃がある場合、プラグを差す前に掃除してください

## 6. 最新情報の入手

使用条件の説明は以上です

情報は随時更新しております

<http://www.futureink.co.jp/vitalbeats/>

の情報もあわせてご利用ください

右のQRコードからもご利用いただけます

